

Z-LOG入門書

第一版 作成 JG6EQR

目次

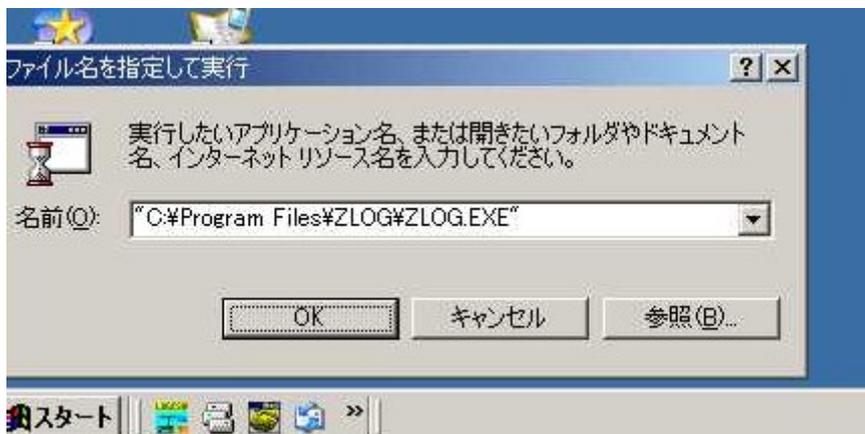
1. まずは立ち上げてみよう
2. 基本設定のやり方
3. 入力方の基本
4. コンテストの結果をE-MAILで送ろう
5. 最後に

1. まずは立ち上げてみよう

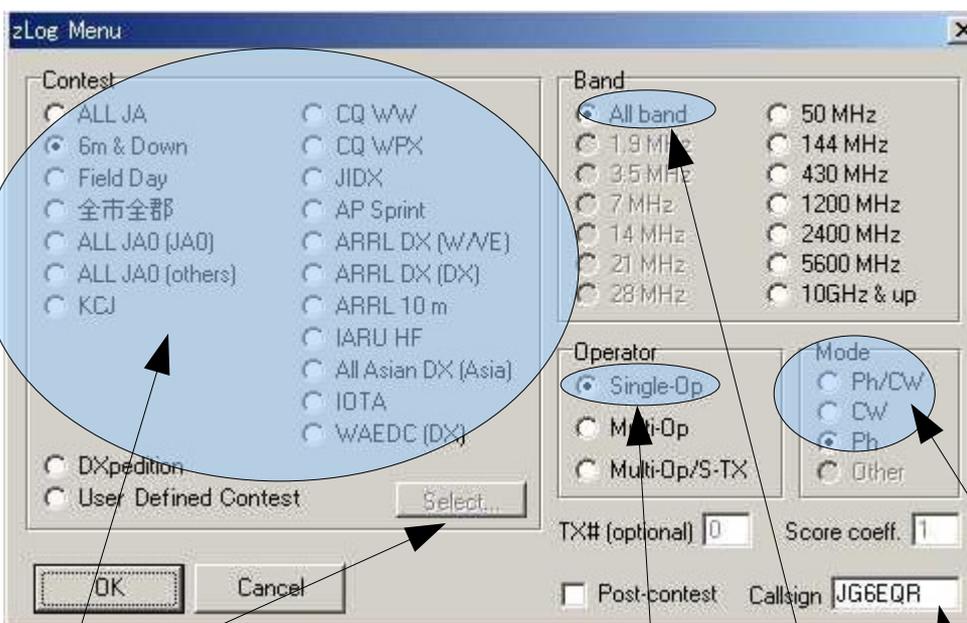
表示はすべて英語になっていますので、英語の苦手な人は重要なところだけ設定すれば大体使えます。

デスクトップにアイコンがある人はそこから、無い人は「スタート」→「プログラム」→「ZLOG」もしくは「スタート」→「ファイル名を指定して実行」→「C:¥Program Files¥ZLOG」で実行する。

ZLOGをインストールしたドライブ&パス指定になります。



図はその例です、WINDOWS2000 のノート PC での使用しています。



コンテストの種類を選びます、無い場合は User Defined Contest を選択します。

これはユーザーによって定義を書くことも出来ます。

オペレータを選びます 通常は一人だから

Single-Op を選択 します。

BandはAll Bandでok

です。

電話／電信の区別 です。

電話のみなら Phを選択。

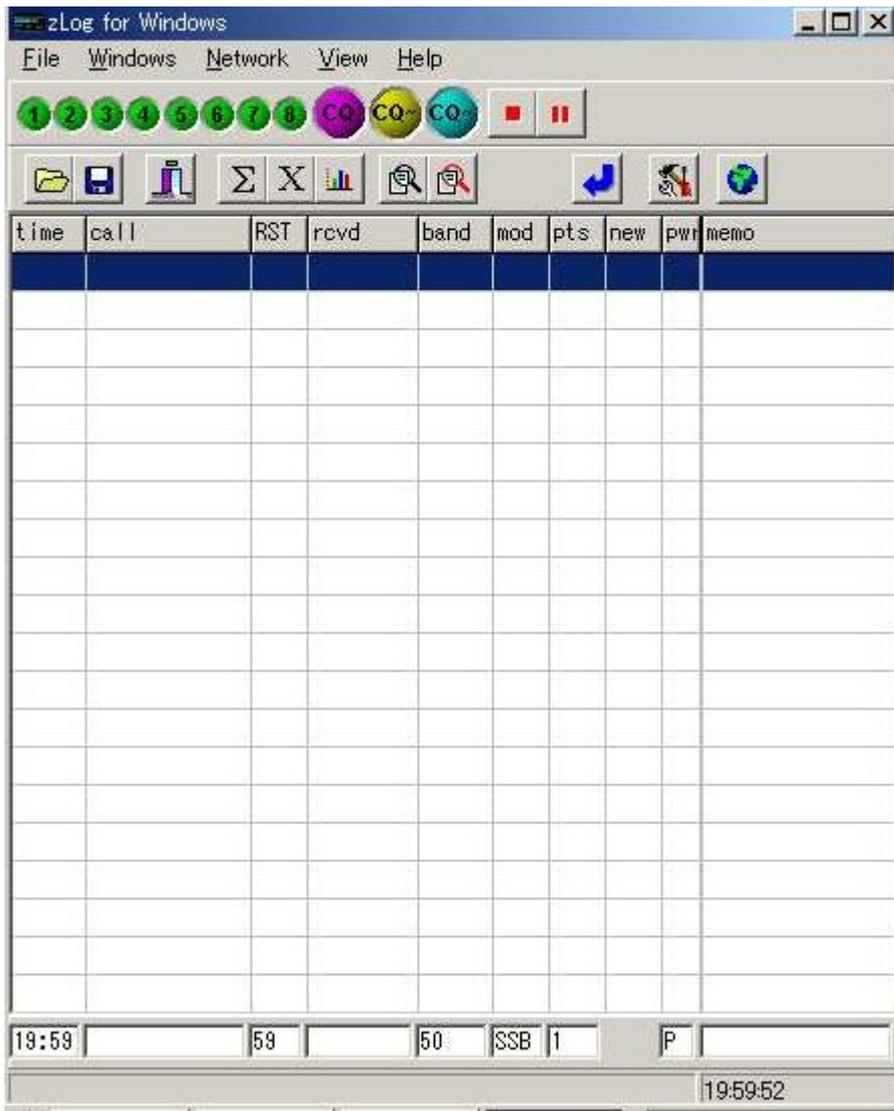
自局のコールサインを入れます一度入れれば後は変更しない限りCallsignは変わりません。

ZLOGが立ち上がると、コンテストの種類とcallsignを選択します。

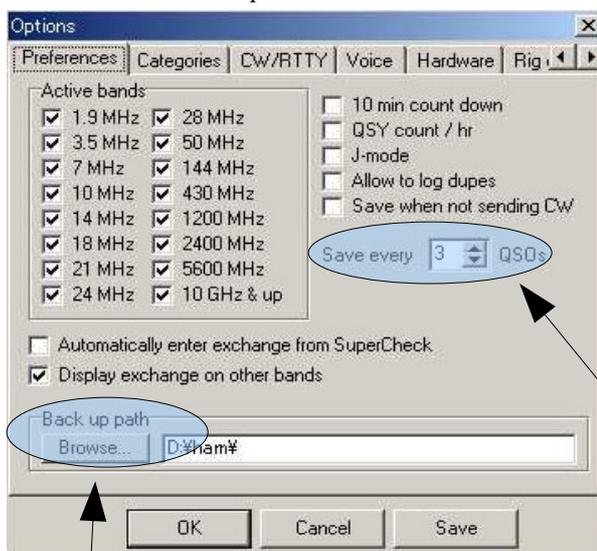
図は新規の時だけで後の変更はその時々に行えます。

2. 基本設定のやり方

zlogを立ち上げまでしましたので、zlogの基本的な設定をします。
まずは



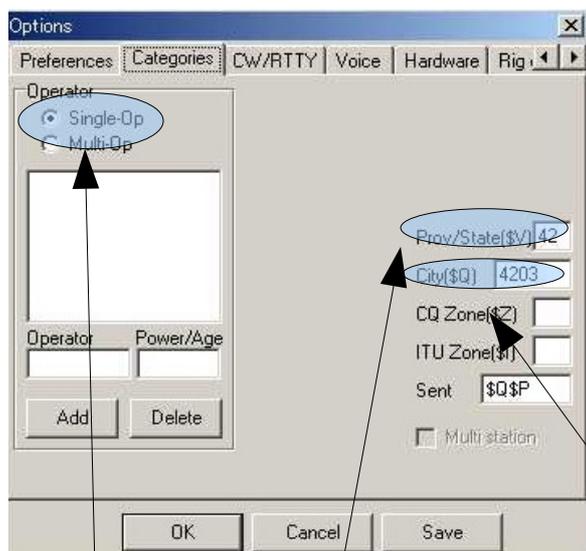
「Windows」→「Options」→「Preferences」のタブを選択します。



バックアップファイルパス指定は、いざというときにデータを修復できます。

3局交信したら自動セーブします。私は変更していません。

次に「Categories」のタブを選択します。



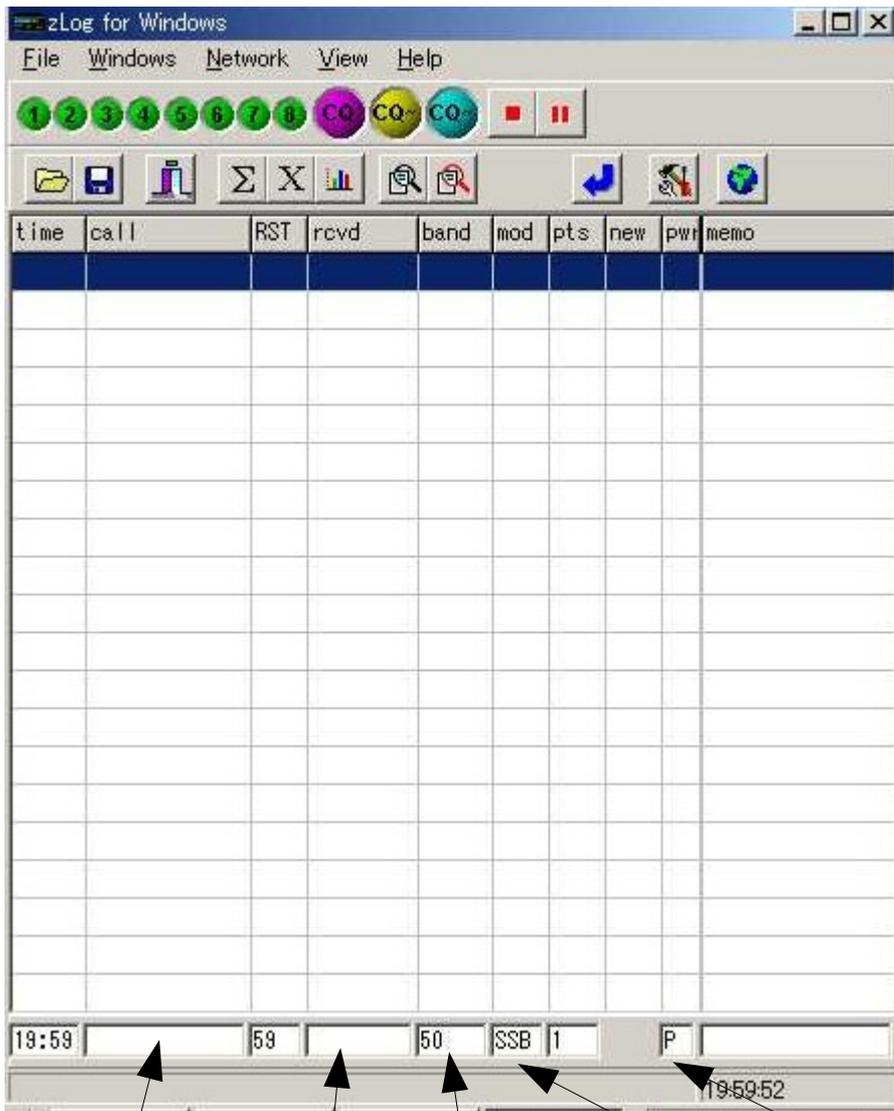
Singles-Opを
選択クラブ局で
は Multi-Opを
選択

都道府県ナンバー 私は長崎
なので42を設定

JCC/JCGナンバーを ここは基本的に変更
入れます、私の場合は 4203を設定
送信ナンバーのRST
(599) + 県ナンバーの
設定です、Powerはログ
入力で選択します。

ここまでで基本的な設定は終わりです、設定を変更した後は「Save」もしくは「ok」を必ず押してください。
以上で基本設定は終わりです。お疲れ様でした。

3. 入力方の基本



交信相手のCALLを入れます。

相手から送られたコンテストNoの県・市ナンバーと相手の送信Powerコードを入れます。

使用した周波数「Shift」+「B」で変更できます。

使用したモード 使用した送信「Shift」+「M」 パワー、「Shift」で変更できます +「P」で変更できます。

基本的にはCALLとコンテストナンバーだけでokです、周波数・モード・パワーは変更するたびに変わってください。



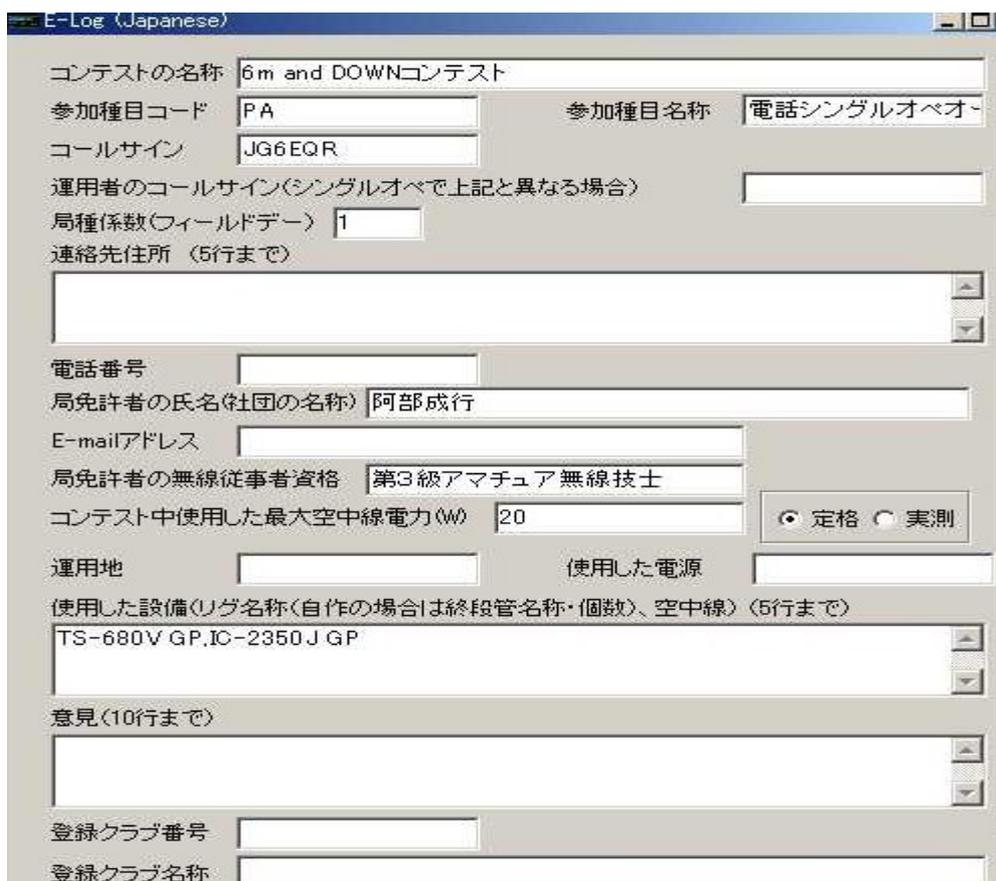
まずCALLを入れます、次にスペースキーを押すとrcvdへ移動しますので、相手のコード番号を入れます、例えばJG6EQRから5942Lと送られたら



CALLを入れます

5942Lの42Lの部分を入力します。

「File」→「Create E-Log(JARL)」を選択します。



E-Log (Japanese)

コンテストの名称 6m and DOWNコンテスト

参加種目コード PA 参加種目名称 電話シングルオペ

コールサイン JG6EQR

運用者のコールサイン(シングルオペで上記と異なる場合)

局種係数(フィールドデー) 1

連絡先住所 (5行まで)

電話番号

局免許者の氏名(団体の名称) 阿部成行

E-mailアドレス

局免許者の無線従事者資格 第3級アマチュア無線技士

コンテスト中使用した最大空中線電力(W) 20 定格 実測

運用地 使用した電源

使用した設備(リグ名称(自作の場合は終段管名称・個数)、空中線) (5行まで)

TS-680V GP, IC-2350 J GP

意見(10行まで)

登録クラブ番号

登録クラブ名称

上のような画面が出ますので必要事項を書いてください。
これは長いので最後までスクロールして書いてください、一番最後に「Save」「e-log作成」

E-log作成を押すとSave画面が出ます。



適当なファイル名を入れて、例では090705になっています。

保存を押したら終了です。

ZLOGを一度終了して、メモ帳などで090705.emを開きます。

上は一例ですが、これを全部COPYして、メーラーの送信画面に貼り付けたら、決まっているJARLのアドレスに送ればエントリー完了となります。

4は駆け足になりましたが、メモ帳やメールソフトはひとによって使っているソフトが違うために割愛させていただきました。

5. 最後に

ZLOGは非常に優秀なソフトですが、基本的な設定があまり書かれていないために敷居が高く感じます、使い慣れるとなかなか手放しづらいソフトです。

リアルタイムでログを入れたい人にはぴったりなのではないでしょうか？まだまだZLOGの機能はありますが私自身使っていないところが多くとりあえず、これだけやれば使えるという 所まで書きました。後は研究の余地を残したいと思います。

ZLOGの素晴らしいソフトを公開された作者の方々に感謝します。